

地域看護学Ⅰ

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 大澤 扶佐子 准教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 12時間
期間	前期		
単位数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

看護専門職として、地域で生活する人々の健康を支える視点を学ぶ。目標としては、プライマリ・ヘルスケア、ヘルスプロモーションおよび地域包括ケア等地域看護の基本的な知識を身に付け、人々の健康ニーズをライフサイクルや健康レベルによって理解する。また、疾病予防や健康を保持増進する活動について基本的知識を理解し、プライマリ・ヘルスケアの概念に基づく医療活動、そして生活支援をする福祉活動を学び、看護職の役割を理解するとともに、地域で活躍する看護職の看護活動の実際を知る。

・教育成果（アウトカム）

人々が生活する地域の捉え方、地域看護活動に必要な理論を学び、地域の人々のライフサイクルや健康レベルに応じた健康課題・ニーズの多様性を捉え、それに応じた保健・医療・福祉等の活動の場における看護職の役割を理解できる。また、地域包括ケアシステムや沢内村の実践等を学ぶことにより、地域の健康課題と人々を支える地域社会の仕組みについて考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 4, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 地域・コミュニティの概念について理解できる。
2. 対象者の生活やライフスタイルの背景を理解し、多様なライフスタイルを理解できる。
3. 環境の現状や課題、環境と健康・生活との関連について考察できる。
4. 健康の定義と地域看護活動に必要な理論について説明できる。
5. ライフサイクルや健康レベルに応じ、地域で健康を支える多様な機関・職種を理解できる。
6. 地域看護において保健師・助産師・看護師が活躍する場とそこでの役割を理解できる
7. 地域の社会資源やグループ、組織活動について人々の暮らしと関連付けて説明できる。
8. 地域の健康課題とそれを支援する地域包括ケアシステムなどの仕組みについて考えることができる。

・授業日程

【講義】

(矢) 西 1-A 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/20	火	2	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授	<p>地域と健康の概念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域・コミュニティの概念および地域を理解する必要性が分かる ・健康とは何かを解釈できる ・ライフサイクルや健康状態に応じた地域で健康を支える機関・活動を把握できる
4/27	火	2	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授	<p>社会環境の変化と健康課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢の変遷について把握し、家庭・仕事・社会環境の状況を示すデータを見て意見交換できる（ディスカッション、レポート課題）
5/6	木	5	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授	<p>地域看護とは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域看護とは何を説明できる ・地域看護の対象と活動の場を理解できる。 ・地域看護に必要な理論を理解できる
5/11	火	2	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授	<p>地域看護における看護職の活動の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域看護活動において、看護師・助産師の活動の場と役割を理解できる
5/18	火	2	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授	<p>地域看護における看護職の活動の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域看護活動において、保健師・養護教諭の活動の場と役割を理解できる。 ・地域で活動する看護職について感じたこと意見交換できる（ディスカッション）

5/25	火	2	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授	<p>地域で暮らす人々の生活と健康を守る ー地域の防災活動ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害の事例と地域防災の活動事例から、防災・減災活動で看護職および連携する職種の役割を理解できる ・自分の居住地における災害リスクと地域の防災・減災活動について考察できる（レポート課題）
6/1	火	2	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授	<p>地域で暮らす人々の生活と健康を守る ー認知症サポーター養成講習ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターの役割を理解できる ・認知症になっても安心して暮らせるまちについて考察できる
6/8	火	2	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授	<p>地域で暮らす人々の生活と健康を守る ー沢内村の地域包括ケアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの目的を理解できる ・沢内村の実践から命を守るための行政の役割を考察できる（レポート課題）

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	家族看護を基盤とした在宅看護論 I 概論編 第4版	渡辺 裕子 監	日本看護協会出版会	2018
参	公衆衛生看護学 .jp 第5版	荒賀 直子 他編	インターメディカル	2020
参	健康格差社会への処方箋	近藤 克則	医学書院	2017
参	大槌町 保健師による全戸家庭訪問と被災地復興	村嶋 幸代 他編	明石書店	2012
推	村長ありき 一沢内村 深沢晟雄の生涯	及川 和男	新潮社 れんが書房新社	1984 2008
推	沢内村奮戦記 一住民の生命を守る村	太田 祖電 他	あけび書房	1983

推	吾が住み処 ここより外になし 一田野畑村元開拓保健婦の歩み	岩見 ヒサ	萌文社	2010
---	----------------------------------	-------	-----	------

・成績評価方法

定期試験 70%、授業内課題に対するレポート 30%により、総合的に評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

教科書は使用せず、毎回資料を配布する。人々の多様な暮らしぶりに関心を持ち臨むこと。シラバスに記載されている「授業内容／到達目標」を確認し、配布資料から事前・事後学修を行うこと。各授業に対する事前・事後学修時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

レスポンスカード・課題レポートは、適時コメントを伝えるなど、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 公衆衛生看護学概論
看護師（別表 3）：統合分野 在宅看護論

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	DVD（ブルーレイおよび一般 DVD）再生機器	1	講義時資料投影